



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <https://www.yokohama-maruu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 雅裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 小畑 和洋

TEL 045-459-2921

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	9,937	10.0	103	128.9	415	52.1	276	60.5
2026年3月期第1四半期	9,033	△1.7	45	△59.9	272	△5.3	172	△16.2

(注)包括利益 2027年3月期第1四半期 3,186百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △166百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	45.85	—
2026年3月期第1四半期	27.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	35,327	24,082	68.0
2026年3月期	30,871	21,051	67.9

(参考)自己資本 2027年3月期第1四半期 24,040百万円 2026年3月期 20,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	15.00	—	19.00	34.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		17.00	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,200	1.4	480	3.8	950	4.7	620	1.3	102.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,261,706 株	2026年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,234,898 株	2026年3月期	1,234,898 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	6,026,808 株	2026年3月期1Q	6,366,808 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の継続を背景として、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、食料品をはじめとする物価上昇が家計の節約志向を強め、個人消費には力強さを欠く状況が続きました。また、米国の通商政策を巡る動向や地政学的リスクの高まりなどにより、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、カツオをはじめとする季節商材の取扱いが堅調に推移したほか、近海魚を中心に安定した集荷・販売に努め、販売機会の確保に取り組んでまいりました。一方で、海洋環境の変化等による漁獲量の変動や、円安基調を背景とした輸入原料価格の高止まり、物流費・エネルギー価格の上昇など、経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは2026年度から2028年度までを対象期間とした「横浜丸魚グループ中期経営計画2026 ～Transform & Growth～」を策定いたしました。当社グループ全ての社員が新たな中期経営計画に対して強い意識を持ち、スタートした各種計画を一つずつ着実に実行することで、3年後の目標達成を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は9,937百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ904百万円（10.0%）の増収となりました。また、営業利益は103百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ58百万円（128.9%）、経常利益は415百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ142百万円（52.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は276百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ104百万円（60.5%）それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（水産物卸売事業）

売上高は8,067百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ956百万円（13.4%）の増収となり、営業利益も49百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ24百万円（100.5%）の増益となりました。

（水産物販売事業）

売上高は1,723百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ55百万円（△3.1%）の減収となりましたが、営業利益は12百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ32百万円（前年同期 営業損失20百万円）の改善となりました。

（不動産等賃貸事業）

売上高は46百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ0百万円（△1.6%）の減収となりましたが、営業利益は30百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ0百万円（0.2%）の増益となりました。

（運送事業）

売上高は100百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ4百万円（5.0%）の増収となり、営業利益も10百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ0百万円（3.4%）の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、35,327百万円と前連結会計年度末に比べ4,456百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加189百万円、売掛金の減少177百万円、商品及び製品の増加101百万円、時価評価等による投資有価証券の増加4,328百万円によるものであります。

負債は、11,245百万円と前連結会計年度末に比べ1,425百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の増加118百万円、投資有価証券の時価評価に伴う繰延税金負債の増加1,318百万円によるものであります。

純資産は、24,082百万円と前連結会計年度末に比べ3,030百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加161百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加2,901百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月12日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,804	2,994
売掛金	3,762	3,585
商品及び製品	1,566	1,667
その他	36	53
貸倒引当金	△445	△434
流動資産合計	7,724	7,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,638	1,623
土地	2,167	2,167
リース資産（純額）	114	122
その他（純額）	47	44
有形固定資産合計	3,967	3,958
無形固定資産		
ソフトウェア	32	31
リース資産	15	13
その他	10	10
無形固定資産合計	58	54
投資その他の資産		
投資有価証券	19,001	23,330
長期貸付金	0	1
破産更生債権等	262	260
繰延税金資産	9	9
その他	90	87
貸倒引当金	△242	△241
投資その他の資産合計	19,121	23,448
固定資産合計	23,147	27,461
資産合計	30,871	35,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,915	3,033
短期借入金	550	500
未払法人税等	127	98
引当金	58	12
その他	355	462
流動負債合計	4,007	4,107
固定負債		
退職給付に係る負債	353	357
資産除去債務	26	26
繰延税金負債	5,104	6,423
その他	327	329
固定負債合計	5,812	7,137
負債合計	9,819	11,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	9,070	9,232
自己株式	△1,175	△1,175
株主資本合計	9,840	10,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,137	14,038
その他の包括利益累計額合計	11,137	14,038
非支配株主持分	74	42
純資産合計	21,051	24,082
負債純資産合計	30,871	35,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,033	9,937
売上原価	8,229	9,058
売上総利益	803	878
販売費及び一般管理費	757	775
営業利益	45	103
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	228	313
その他	4	0
営業外収益合計	233	314
営業外費用		
支払利息	2	2
車両事故損失	2	0
その他	0	0
営業外費用合計	5	2
経常利益	272	415
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	272	414
法人税、住民税及び事業税	93	138
法人税等調整額	△1	△9
法人税等合計	91	129
四半期純利益	181	285
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	172	276

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	181	285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△348	2,901
その他の包括利益合計	△348	2,901
四半期包括利益	△166	3,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176	3,177
非支配株主に係る四半期包括利益	9	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	41百万円	37百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	2,080	—	—	—	2,080	—	2,080
冷凍	2,069	—	—	—	2,069	—	2,069
塩干加工他	2,961	—	—	—	2,961	—	2,961
水産物一般	—	1,778	—	—	1,778	—	1,778
運送	—	—	—	95	95	—	95
顧客との契約から生じる収益	7,111	1,778	—	95	8,985	—	8,985
その他の収益	—	—	47	—	47	—	47
外部顧客への売上高	7,111	1,778	47	95	9,033	—	9,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	463	22	6	29	522	△522	—
計	7,574	1,801	54	125	9,555	△522	9,033
セグメント利益又は損失（△）	24	△20	30	10	45	△0	45

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△0百万円は、棚卸資産の未実現利益△0百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	2,344	—	—	—	2,344	—	2,344
冷凍	2,405	—	—	—	2,405	—	2,405
塩干加工他	3,317	—	—	—	3,317	—	3,317
水産物一般	—	1,723	—	—	1,723	—	1,723
運送	—	—	—	100	100	—	100
顧客との契約から生じる収益	8,067	1,723	—	100	9,891	—	9,891
その他の収益	—	—	46	—	46	—	46
外部顧客への売上高	8,067	1,723	46	100	9,937	—	9,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	548	22	6	33	611	△611	—
計	8,616	1,745	53	134	10,549	△611	9,937
セグメント利益	49	12	30	10	103	0	103

（注） 1. セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。

（重要な後発事象の注記）

（自己株式の消却）

当社は、2026年8月6日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の一部を消却することを決議いたしました。

1. 自己株式の消却を行う理由

資本効率の向上及び株主還元の充実を図るため、自己株式を消却することといたしました。なお、今回の自己株式の消却は、2025年11月6日付の「自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の買付けに関するお知らせ」、及び2025年11月7日付の「自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得結果及び自己株式の取得終了に関するお知らせ」により公表していた方針に従ったものです。

2. 消却に係る事項の内容

- | | |
|-----------------|---------------------------------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 661,706株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 9.11%) |
| (3) 消却予定日 | 2026年8月31日 |
| (4) 消却後の発行済株式総数 | 6,600,000株 |